いわて森林再生77

おらたちは森林の環境を守り、未来の資源づくりにつとめます

2022年12月　2023年1月 号

NPO法人 いわて森林再生研究会
盛岡市高松２－８－１（工藤方）

講座の対象も広葉樹になって、どんどん課題の難易度が上がっています。しっかりとした技術を身につけていきましょう。

【森林・林業教育】

2022年9月、岩手大学教育学部附属中学校から、第1学年「総合的な学習の時間」における訪問学習の依頼をいただいた。本校第1学年では「『地域と関わる』とはどのようなことか～盛岡を知ることから始めよう～」を共通学習課題に設定し、生徒はこれまでに盛岡の魅力や強み、また地域課題について、調べ学習を行ってきた、今回の訪問学習では、盛岡の人々がどのように地域課題に向き合いその改善に努めてきたかについて、現地に赴き様々な方々の話を聞き「地域と関わる」ということについて自分たちの考えを深めさせたいと考えているとの事。

依頼の側も、「いわて森林再生研究会」宛であり、山の事を知ってもらう好機と考え、間伐を実行したスギ人工林と広葉樹二次林を見学し学習してもらう場所に設定しました。

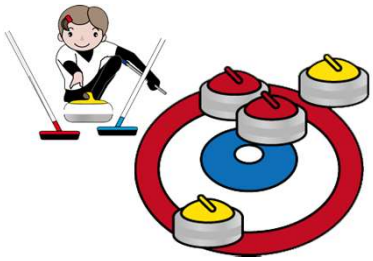
実施は9月下旬、訪問生徒は、男女6名、時間は現地2時間。生徒を公共交通最寄りバス停から2台の車に分乗現地まで12分、帰路は同じバス停まで。最寄りバス停は当方が情報提供後生徒が調べ利用した。

当日もらった、設問

①今の盛岡の自然の現状はどのような感じか。
②岩手の広葉樹林・海・川のサイクルはあるのか。
③森林伐採についてどう思っているのか。
　また、何か対策しているのか。
④私たちができる森林を守るための行動は何があるか。
⑤皆さんが目指している岩手の森の姿とはどのようなものか。

山入りへの準備もよく、設問への幅を広めた話をよく聞き、質問も積極的。余韻とともに嬉しい1日となった。

活動カレンダー　12/1～1/31		詳細
月　日	内　　容	
12/3(土)	「森の恵み」研究事業 集合　ギダジ研修場	7p
7(水)	里山事業‥集材、運材、他 集合　上飯岡（米内林）現地集合	4p
9(金)	里山事業‥集材、運材、他 集合　ギダジ研修場	4p
10(土)	講座‥チェンソーの目立て 集合　中野地区活動センター	3p
17(土)	間伐材の資源化‥木工教室 集合　ギダジ研修場	2p
18(日)	研修場の冬支度と整備 集合　ギダジ研修場	6p
19(月)	「森の恵み」研究事業 集合　ギダジ研修場	7p
1/14(土)	間伐材の資源化‥木工教室 集合　ギダジ研修場	2p
22(日)	新春セミナー「オープン講座」 集合　盛岡市遺跡の学び館 だれでも参加できます	3p
28(土)	「森の恵み」研究事業 集合　ギダジ研修場	7p



※　講師派遣のスケジュールは5pを見てください。

ホームページ　http://i-sinrinsaisei.org/
ブログ　http://iwatesinrinsaisei.sblo.jp

「間伐材の資源化プロジェクト」

「 **薪づくり / 製材 ／ 木工教室 / きのこ栽培** です 」

間伐材を資源化して活用する活動です。
講座の受講生も参加可能。
機材、道具、材料は事務局で用意します。

＜ １２・１月のスケジュール ＞

■ **木工教室**

と　き　１２月１７日(土)
　　１月１４日(土)
(雨天積雪時は屋内で行います)

集　合　ギダジ研修場　9:00～15:00

内　容　製材した板を使った作品作りをします。
各自が希望する作品を参加者が協力し合って完成を目指しますので設計や作り方は他の参加者に相談しながら進めます。
手持道具の手入れも相談可能

当会の機材貸出について
活動に参加して活躍できる技術研鑽を目的に貸し出しています。無料のレンタルではありません。
活動のなかで使用法をマスターしボランティアで参加する会員を優先しています。
必ず貸出簿に記入して持ち出してください。
破損の際は事務局まで連絡をお願いします。

来年度の薪希望者を受付け始めます
来年度のスギ薪集材を計画しますので薪希望者は早めに連絡ください。集材がまかなう量になり次第締め切ります。
090-4553-6903岩崎まで
スギ材玉切りの姿で引き渡します。
薪割機貸出付き
軽トラ10台分程度
配布額　3万円

１０、１１月の活動から

□　１０月２２日、１１月２６日　木工教室の活動を行いました。

ろくろ治具で挽いてみる

栗の木から木槌を製作

全員で作品の設計検討

製作途中で何度も設計を確認

ケヤキの厚板を二枚に挽き割り

板挽きの製材機を調節中

挽き割ったケヤキの幅板

持ち帰り用にオガクズを袋詰め

キノコも発生していました

「森のチェーンソー講座」 ・・・・県民参加の森林づくり事業（森林税事業）

だれでも参加できます。

＜ 12月のスケジュール ＞

■　開講日・・・・

◎ と　き　12月 10日(土)　9:00～15:00

ところ　中野地区活動センター
盛岡市東安庭字小森57-1

内　容　チェーンソーの目立て
※チェーンソーを持っている方は持参して研いでみましょう。

＜ 1月のスケジュール ＞

■　開講日　「オープン講座」

◎ と　き　1月 22日(日)　10:00～14:30

ところ　盛岡市遺跡の学び館
盛岡市本宮字荒谷13-1

内　容　右枠内を見てください。↗

新春セミナー　オープン講座

日時　2023年1月22日（日）10:00～14:30

場所　盛岡市遺跡の学び館
盛岡市本宮字荒谷13-1
※盛岡市こども科学館の南となり

１部（午前）10:00～11:30

講　師　NPO法人遠野エコネット
理事長　千葉　和(なごみ)氏

テーマ　遠野エコネット 活動のあらまし

２部（午前）13:00～14:30

講　師　NPO法人いわて森林再生研究会
顧問　斉藤　文男

テーマ　増え続けるCO_2
・怒る若者たち
・地球環境をまもれるか……

※新型コロナの感染状況によっては急きょ中止になる場合がありますので、予めご了承願います。

10月の活動から

□ 10/8(土)･23(日) 講座・・・深沢市行造林
10/8:受講者15人、ｽﾀｯﾌ16人、10/23:受講者20人、ｽﾀｯﾌ15人

ウインチを使って集材

11月の活動から

□ 11/5(土)･13(日)･27(日) 講座・・・八幡平温泉郷
11/5:受講者20人、ｽﾀｯﾌ15人、11/13:受講者20人、ｽﾀｯﾌ11人、
11/27:受講者19人、ｽﾀｯﾌ15人

雑木林で広葉樹の伐木

偏心かつ堅い樹木が多い!!
どんな伐木方法が有効か？

薪づくり
斧を使って
薪割り

里山整備対策事業・・・・・林野庁の交付金事業

・林野庁事業名・・・森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業（R4～6年3年計画の1年目）

12月のスケジュール	1月のスケジュール
■地域環境保全 と き　12月　7日（水）　9:00～15:00 　　9日（金）　9:00～15:00 ところ　7日-上飯岡（米内林）、9日-手代森（吉田林） 内 容　7日：集材、運材、他 　　9日：集材、運材、他 集 合　7日；上飯岡（米内林）現地集合 　　9日：ギダジ集合	令和4年度 活動終了 令和5年度事業 令和5年4月から活動予定

10 /11月の活動から

□ 地域環境保全・・・・・10/12⇒藪払い、除伐　　参加 14人
10/20⇒藪払い、除間伐　　参加 14人
11/ 9⇒整理伐、除間伐,　　参加 12人
11/17⇒整理伐、除間伐　　参加12人

10/12 藪払い

10/20藪払い

11/9除間伐

11/17整理伐

ブナ科の樹木…クリ属

＊ クリ（栗）・・・山野に自生する野生種でシバグリ（柴栗）やヤマグリ（山栗）と呼ばれる。
その改良した栽培品種（200種類以上ある）が二ホングリ（日本栗）で、果実が大粒。甘栗、天津栗は、シナグリで中国中部原産の別種である。

＊分　布・・・北海道西南部から本州、四国、九州の屋久島まで、および朝鮮半島に分布する。
暖帯から温帯域の、日当たりの良い山地、丘陵に自生し、特に暖帯上部に多産する場合があり、これをクリ帯と呼ぶ。

＊形　態・・・落葉性高木で、樹高15m幹直径80cmあるいはそれ以上になる。

＊生　態・・・雌雄同株、雌雄異花で6月下旬から7月に開花。ブナ科の植物では珍しい虫媒花で、雄花の臭いをまき散らして昆虫を呼び、他花の花粉を運ばせる。
（「自家不和合性」の為、自花受粉しない、ミツバチなどの蜜源になる。）
陽樹で明るいギャップでは周囲に繁茂する草や低木に負けずに定着するが、暗い林内では、大きく成長出来ず、ながく生き延びる事が出来ない。

＊食料利用・・・クリの実は、縄文時代初期より食料として重用された。
野生種（シバグリ、ヤマグリ）は、栽培種よりも堅果は小さいが、甘味は強く、非常に濃厚な味わいがある。栽培種のオオグリ（大栗）は、野生種から改良された。
・ 栽培品種　早生栗（丹沢・国見）、中生栗（筑波・銀寄・利平栗）、晩生栗（石鎚・岸根）
・ 丹波栗　　丹波・篠山地方で栽培される和栗の総称、銀寄・筑波が代表品種。

＊木材利用・・・材木は、硬くて重く、腐りにくい材質を有し、建物の柱や土台、枕木や家具に利用。
近年は資源量不足で入手しづらい。細い丸太は薪木やホダギに利用される。

☆国指定天然記念物
カズグリ自生地
花巻市
（旧東和町）

☆シバグリの突然変異でイガが連なって出来る。着花習性の異常で花はすべて雌花で、雄花は生じない。受粉は付近のクリの花粉と考えられる。果実になるのは基部のものだけで、他はイガのみ。初代のものは枯死したが、昭和17年に接ぎ木した二代目が7本自生する。長野県にもあったが、大正期に枯死し、この地のみで確認されている。

講師派遣事業　（安全技術普及活動）

＜１２/１月 の スケジュール＞

主　催　団　体　名	月　　日	事　業　名	
NPO法人遠野エコネット	12月11日（日）	第11期　山仕事入門講座	全11回（5月～翌 3月）
	1月15日（日）	第11期　山仕事入門講座	
NPO法人紫波みらい研究所	12月11日（日）	山仕事初級講座	
	1月 8日（日）	山仕事初級講座	
	1月22日（日）	山仕事初級講座	

＜10 /11月の活動から ＞

□ 10 /　9(日) **遠野エコネット**・・・１１年目の「山仕事入門講座」

テーマ　・・・間伐、造材の実習　　受講者 13名　派遣・・櫻井栄次郎・岩井信之・矢神光政 3人

□ 11 / 13(日) **遠野エコネット**・・・１１年目の「山仕事入門講座」

テーマ　・・・間伐、枝打ちの実習　　受講生 11名　派遣・・櫻井栄次郎・豊島正紀・矢神光政 3人

10/ 9 枝払い実習

10/9 造材実習

11/13 枝打ち実習

11/13 伐木実習

□　10/9、23 11/13、27（日）**紫波みらい研究所**‥「山仕事初級講座」

テーマ・・・・伐倒と集材 広葉樹の伐倒　実習　　派遣‥鎌田、後藤、岩崎

集材ウインチの操作

ハイ積み作業

伐根の撤去

広葉樹伐倒の方策検討

追いツル切り

伐根の成形

追いツル切り

かかり木処理作業

いわて森林再生研究会

事務局からのお知らせ 12月・1月号

事務局:盛岡市高松2-8-1（工藤方）
（携） 090-7329-4462 E-mail:ishikoro_no4 @ dune.ocn.ne.jp

Ⅰ　研究会の各活動分野のスケジュール・活動状況等（次の頁を御覧ください。）

１頁 ☞ いわて森林再生研究会活動カレンダー
２頁 ☞ 間伐材の資源化プロジェクト（間伐材利活用）
３頁 ☞ 森のチェーンソー講座
４頁 ☞ 里山整備対策事業（里山事業）
５頁 ☞ 講師派遣事業
６頁 ☞ 研究会事務局からのお知らせ
７頁 ☞ やる気のページ（森の恵み事業等）

Ⅱ　各活動分野以外の活動（事務局）

(1)　ギダジ研修場の冬支度と機材整備

ア 日時：12月18日　９時～15時

イ 内容：機材作業小屋の整理と周囲の片付け

※　所有者不明物の処分もしますので、私物を置いている方は、保管の要・不要をおしらせ下さい

岩崎(090-4553-6903)

(2)　ギダジ研修場（研究会の活動拠点）の環境整備（草刈り作業、整理整頓等）

10月､11月の参加者数は、各５名でした。

Ⅲ　理事会について

10月30日（日）、当研究会の理事会が開催されました。概要を抜粋の上、お知らせします。

(1)　森のチェーンソー講座について、新スタッフ２名が加わって４月から10月までに13回実施。順調に進んでいることが報告されました。

(2)　里山整備対策事業（里山事業）について、４月から10月までの13回の活動について報告がありました。（延べ参加者171名）

(3)　間伐材の資源化プロジェクトについて、４月から10月までの９回の活動について報告がありました。（延べ参加者数88名）

(4)　「森の恵み研」究事業について、４月から10月までの14回の活動について報告がありました。（延べ参加者数150名）

(5)　グリーンボランティア保険に係る事故報告２件がありました。１件は小型チェーンソーの操作ミスによる切り傷、１件はマムシによる咬傷でした。くれぐれも御注意を。

Ⅳ　研究会の会報について　　誰が、どのようにして発行している？

(1)　当研究会の会報は、２か月に１回発行しています。

(2)　記事は、理事や事務局の担当者が分担して執筆します。

･･･次の記事入稿は、意外とすぐにやってきます。

(3)　編集者５～６名が記事を集約、紙面データを作成します。

･･･岩崎理事が中心となって印刷データを準備します。

(4)　盛岡駅西口のアイーナに集合、印刷・封筒入れします。

･･･村上理事兼事務局次長中心、４～５名が参集します。

(5)　郵便局に持参、発送します。･･･発送先は、次のとおり。

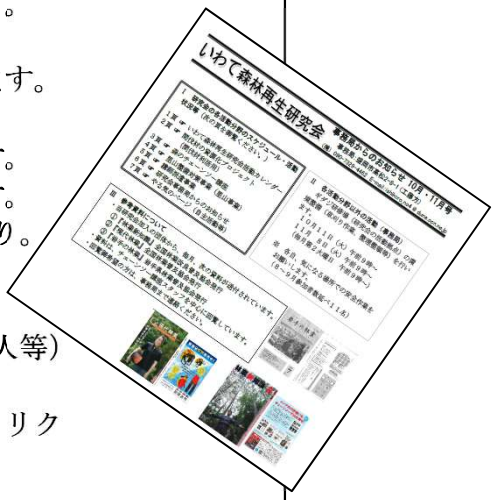
ア　ＮＰＯ法人会員約100名

イ　森のチェーンソー講座受講生31名

ウ　関係機関８団体（盛岡市、岩手大学、関係ＮＰＯ法人等）

エ　報道機関５団体（IBC、NHK、岩手日報等）

(6)　記事を書いてみたい方、こんな記事が読みたいというリクエスト、発送作業を手伝いたいという方は事務局まで。



三助山（田頭林）の針広混交林整備プロジェクト
（「森の恵み」研究事業）

＊　12月活動日　12月 3日（土）　12月19日（月）
＊　1月活動日　1月28日（土）

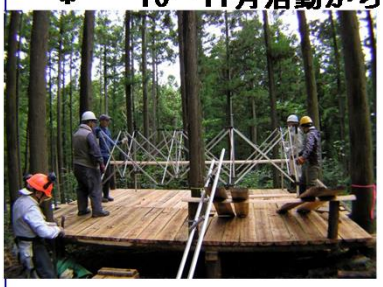
・時　間　AM ９：００～PM ３：００
・場　所　集合　ギダジ研修場
現場　三助山（田頭林）

ツチアケビ

☆ 造材、集運材、他　（１月は室内、事業検討会議）

＊　10―11月活動から

10月 8日	休憩スペース整備・間伐	参加　８人
10月24日	休憩スペース整備・間伐	参加　７人
11月 5日	集材	参加１１人
11月28日	集材	参加１０人


休憩スペース整備

＊楽しいから山仕事をする。
安らぐから木を使う。
そうして、気がつくと
森が手入れされ、
誰もが楽しめる
森が出来ていた。

集材

■　施業プランナー　今月の話　『 根張りのカットと根の支持力 』

根張りのカットの影響は？
伐倒の際にカットする根張り。立ち木の支持にどんな影響があるのか考えてみましょう。

立ち木を支えている根張りの太さ
太い根張りは根も長いので支える力も大きい。

斜面の上と下で支える違い
立ち木の斜面下側は表土が薄くなっている場合が多く洞(ウロ)状の穴になっています。
また上からは引き支え（引っ張り）、下から押し上げ（圧縮）という違いもあります。

枝の広がりと根の長さ
枝の広がりと同じくらい根が伸びる・・と言われますが実際はそうでもないです。
偏心木の根は表土が柔らかく深い方に伸びています。

根を支える地盤の強さ
生えている土の中身、砂土・粘土・有機土の混ざり具合で支持強度が変わります。
土の性質見極め方
砂　　：触れると崩れるような塊。ひも状にできない。
シルト：自由に扱える塊で水を含むとすぐドロドロ。ひも状にできる。
粘　土：壊さないで自由に扱える塊になる。長いひも状にできる。
有機土：褐色～黒色で繊維が含まれる。